

令和4年度第2回広島県公立大学法人評価委員会

- ・開催日時：令和4年8月25日（木）10：00～10：45
- ・開催場所：WEB開催
- ・出席者：曾余田委員長・浅田委員・木原委員・中矢委員
- ・議題：令和3事業年度広島県公立大学法人業務の実績に関する評価結果（案）について

【質疑】（評価委員○，事務局●）

- 「研究の質の向上」には，獲得件数や金額に偏りが見られる旨の記載があるが，これは，教員間あるいは部局間の偏りなのか，分かりやすく記載すべき。
- 教員間での偏りという趣旨であり，評価結果案を修正する。
- 留学生の受入れについては，定量的な視点だけではなく，定性的な面からも評価すべき。叡啓大学において，留学生受入れに向けて努力したことを強調した方が良い。
- 新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり，留学生の受入れについては，評点の対象外としているが，本文の中で，大学の取組を記載している。
- 留学生を確保するだけでなく，留学生の満足度を把握することも重要。留学生が安心して生活し，学修に専念できるように取り組むことは，留学生を確保していくために必要な視点。
- 国際学生寮への入寮を促すなど，留学生のサポートを行っているところであり，こうした取組について追記する。
- 県立広島大学のルーブリックは，「課題探求型地域創生人材」を育成するためのものであり，冒頭の全体評価の中で，こうした人材育成に取り組んでいる旨を明記すべき。
- 「研究の質の向上」の項目について，法人の自己評価では，教員OBによる助言・指導などが上がっており，評価結果案には，こうした内容も記載すべき。
- 御指摘のとおり，評価結果案を修正する。
- 国において，新型コロナウイルス感染者の全数把握の見直しなどが検討されているが，大学への影響が気になる。学生は，授業のみではなく，教員や学友との交流を通じて成長していく面もある。
- 両大学とも，学生や教員との交流の重要性は認識しており，令和4年度は，国の方針等も踏まえて，原則，対面により授業を行っている。
- 新型コロナウイルス感染症の影響を受けて，インターンシップの受入中止やオンライン実施となる事例も発生しており，実効性を高めるため，実施内容をよく把握しておく必要がある。
- 2年生は，既にインターンシップを実施しており，留学生の実施状況等については，改めて確認して報告する。

⇒ 各委員から出された意見の評価報告書への反映については，委員長に一任することです承。